

地域の子どもと大人が持ち寄って創るシェアリングライブラリー ～ みんなのシェアで創る地元のまち ～



みんなのシェアで創る地元のまちプロジェクトでは、地域の中で、空間（場所）やスキル（ボランティア、プロボノ）、物（フードドライブや古本寄付）、お金（応援消費、寄付）、情報（地域の今昔、アイデア）をみんなが持ち寄りながら、地域で必要とされている課題の解決や地域活性化に取り組みます。その1つの取り組みがシェアリングライブラリーづくりです。ぜひ一緒にチャレンジしてみませんか？

●シェアリングライブラリーとは

本のシェアリング（本の寄付）で集まった書籍と購入した書籍を交えて創る図書エリアです。地域の誰もが使える場所として、「本」をきっかけとした学びや交流の場となることを目指します。特に棚主お薦め本は、各世代（小学生・中学生・高校生・大人）それぞれがお薦めする良さを形にしたいと考えています。

ライブラリーのコンセプト

- 地域に既にある資源（古本）を利用して創る
- 棚主お薦め本など、利用者が選書出来る楽しさも提供する



●どこにシェアリングライブラリーを作るの？

以前、目黒区立第四中学校があった下目黒6丁目にある「こぶしえん（社会福祉法人徳心会）」と呼ばれる特別養護老人ホームや障害者支援施設等の中にある地域開放エリア（カフェエリア）に作ります。施設が開館している午前9時～午後6時まではいつでも利用出来る予定です。地元中学校跡地という地域所縁の場所を選ぶことで、親しみやすく、いつでも気軽に利用できる場所を目指します。

●いつの完成をめざすの？

2024年2月の開設を目指しています。2023年の5月頃からライブラリーに集める本のテーマを決めていきます。夏から冬にかけては、地域の方々からの本集め（古本寄付）や本棚の制作をすすめます。

集める本のテーマ決めや本を集める時、本棚のDIYの時には子どもたちの力も借りて、子どもから大人まで、みんなと一緒に地域の図書スペースを創り上げていきます。イベントは事前に告知をしますので、ご参加お待ちしております。

ライブラリーづくりのスケジュール

- 本のテーマ検討（23年5月～6月）
- 古本寄付の実施（23年8月・12月）
- 本棚のDIY制作（9月～12月）
- シェアリングライブラリーの開設（24年2月）

不動産プロボノネットワークとは

2017年4月に設立し、地域の大人が持つスキルを活用して街の“未来”の礎になる青少年（小中高生）向けの社会教育活動や地域での交流活動を行っている任意団体です。

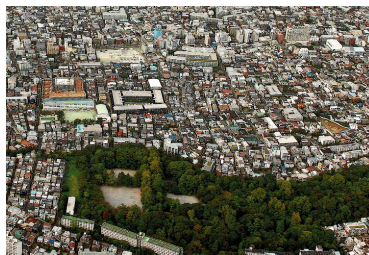
近年は、地元の町内会やNPO団体などの他団体とも連携して地域のまちづくり活動に積極的に取り組んでいます。主な大人のメンバーは、子育て世代の父母であり、社会人として様々な業種・業界で働きながら地域活動に取り組んでいます。2023年度は、シェアリングライブラリーづくり以外にも、地域での体験型の活動を予定しています。



社会課題体験
（映画上映会・SDGs講演会）



まちづくり体験
（カードゲームや寄付体験）



不動産ストーリーブック作り
（古老に聞く・まち歩き等）



コンポスト体験&
綿花や季節の草花栽培

【主催】 不動産プロボノネットワーク（お問い合わせ: contact@fudou-probono.net、担当: 沖）

【後援】 一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団、目黒区社会福祉協議会

【協力】 下目黒五丁目自治会、社会福祉法人徳心会こぶしえん